

若者の地元定着促進方策に関する研究～地元企業のインターンシップに着目して

1250477 田中 寛人

指導教員 土屋 哲

研究背景

日本では人口減少が深刻な問題となっており、特に高知県では全国に先駆けて減少が進行し、地域社会の維持が困難になっている。若者の定住促進が重要視される中、就職先の魅力が地域定着に大きな影響を与えると考えられる。近年の研究では、インターンシップが学生の地域選択に関与することが示唆されているが、具体的に高知県の学生が高評価をつけるインターンシップの要素は明確でない。

研究目的

本研究は、若者の地元定着のために、学生にとって魅力的なインターンシップの特徴を明らかにし、地方企業が就職先として一層魅力的になるために、インターンシップの改善に向けた具体的な提言を行うことを目的とする。

研究方法

本研究では、高知県内の企業および自治体など公的機関のインターンシップに参加した学生を対象にインタビュー調査を実施し、インターンシップを特徴づける 11 項目について評価してもらった。回答データを用いて主成分分析を行い、インターンシップの評価の高低に共通する特徴や差異を抽出した。

分析結果

学生の評価を通して、インターンシップに関する 11 項目を、3 つの主成分にまとめることができた。それぞれを、「仕事環境・人間関係」（第一主成分）、「学びや成長の促進」（第二主成分）、「インターンシップの内容」（第三主成分）と名付けた。

考察・結論

本研究の結果から、高知県の学生にとって魅力的なインターンシップは、①対面形式の実施、②企業の本質を伝える内容、③成長を促進するプログラムを備えたものであることが示された。特に、対面形式は企業理解やコミュニケーションの円滑化に寄与し、企業の本質を明確に伝えることが重要である。また、課題解決型の業務体験や適切なフィードバックを取り入れることで成長実感を高めることができる。これらの要素を取り入れたインターンシップは、学生の満足度向上と企業の採用活動の成功、ひいては地元定着に貢献すると考えられる。